



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2020~2021)

- ・国際会長 価値観、エクステンション、リーダーシップ
Jacob Kristensen (デンマーク)
- ・アジア太平洋地域会長 変化をもたらそう
David Lua (シンガポール)
- ・西日本区理事 主題 "Let's do it now"
副題 "2022に向け誇りを持って All is well"
古田 裕和 (京都トゥービーワイズメンズクラブ)
- ・六甲部 部長主題 行動に信念を、信念は行動に
Believe in what you do. Do what you believe in.
安行 英文 (さんだワイズメンズクラブ)
- ・西宮クラブ会長 万本 敬一
会長主題 報・連・相 医食同源

2021年1月
873号
《74期-7号》
since 1948. 5. 17

スポンサークラブ
大阪クラブ
DBC
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員	
会 長	万本 敬一
直前会長	小野 勅紘
副会長(次)	廣瀬 一雄
副 会長	石井 恭子
書 記	濱崎 進一
書 記	山口 吉郎
会 計	小野 勅紘
会 計	重村 仁
監 事	阪根 新
監 事	山本 常雄
広報事業委員長	小野 勅紘
区LD委員	馬場 貴英
区組織検討	山口 吉郎
担当主事	藤田 良祐

2021年1月 西日本区強調ポイント IBC DBC

IBC DBCのクラブがあるところは何か連絡を取り合い近況報告をお互いに行いましょう。IBC DBCの無いクラブの皆さんは他クラブ訪問なさってみませんか。
中堀 清哲 国際・交流事業主任 (鹿児島クラブ)

西宮ワイズメンズクラブ 2021年1月例会

第一例会、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。

1月ドライバー 阪根 新メン 山本 常雄メン

西宮ワイズメンズクラブ メンバー各位

テーマ 自由 for EX

- 1) 新春に思うこと
- 2) コロナ禍にあって思うこと
- 3) コロナ終わって遣りたいこと
- 4) これからのY's活動について
- 5) 趣味のこと 等々、
夢なり楽しいことなり語りましょう!

今月の聖句

イエスは言われた。「私は道であり、真理であり、命である。私を通らなければ、誰も父のもとに行くことができない。あなたがたが私を知っているなら、私の父をも知るであろう。いや、今、あなたがたは父を知っており、すでに父を見たのだ。」 聖書協会共同訳 ヨハネによる福音書 14章6・7節

山口政紀メン 選

12月例会出席状況	在籍会員数	22名
第1例会(11金)	第2例会(25金)	
メン 0名	メン 10名	
メネット 0名	メネット 0名	
ゲスト 0名		
合計 0名	合計 10名	
MU 10名	合計 10名	出席率 45.5%

	12月	20-21年度累計
ニコニコファンド	¥0	¥17,000
BF@300	¥0	¥17,100
東日本震災@200	¥0	¥11,400

Happy Birthday To You

1月 お誕生日おめでとうございます

1日 濱崎 進一メン・廣瀬 一雄メン

2日 石井 恭子メン

10日 濱 美智子メネット

20日 山口 政紀メン

28日 重村 眞由美メネット

会長メッセージ

会長：万本 敬一メン

あけましておめでとうございます。

このメッセージを書いているのは、まだ師走でありまして、去年は災害やコロナ禍と自然は人間には優しくはないのだと感じさせられるニュースが多く、社会生活は激変しました。アナログ人間の私は、人との交流、接触の減少で、空白の時間が多くなり、自分の趣味をのんびりと楽しんでいます。お正月は、例年鍋料理やすき焼きなどを食していましたが、今年は免疫力が上がりそうな肝臓、じん臓、血管などに良い料理を加えようと、香草や各種スパイス等を買いました。となると酒の肴は、ブルーチーズ、キャビアも仕入れ赤ワインとなります。飲みすぎない様にと考えながら巣ごもりする予定です。皆様はいかがお過ごしでしょうか。今年も元気で明るく楽しくやりましょう。



コロナ禍でも保育園は休みません。医療

関係、介護関係、その他エッセンシャルワーカーとして働くお父さん、お母さんがおられます。その方々の働きのお手伝いができるように新型コロナウイルスが感染拡大をする中、一日も休まず保育を続けてきました。緊急事態宣言の中、大きな不安と闘いながら職員はがんばってくれました。神戸市の出ずさまざまな情報に迷いながら、しかし二宮保育園としてできることをしてきました。

「新しい生活様式」は保育園ではできません。子どもたちと密着し、肌と肌のぬくもりを感じながら、顔を見て声をかけ、子どもの声をしっかり聴いて、抱っこして、手をつないで、いっしょに楽しくご飯を食べて、いっしょに笑い、いっしょに悲しんで・・・、新しい生活様式に外れたことばかりです。その中で、相矛盾する感染予防を考えてやってきました。年が明けて、いつみんなで

お疲れさん会ができるのか、不安な日々をみんなで走り抜けて、新しい生活を期待し、待ちたいと思います。
馬場一郎メン

「私の健康法」

重村 仁メン

健康維持のため何をしますかと問われますと、私はある時、恩師に「これからは長寿の時代、5歳刻みでチャレンジすれば、70歳まで5つのことができる。時間見つけて、健康にいい趣味を持ちなさい」と教えられました。

スタートは45歳から新舞踊、50歳素人劇団参加、55歳スキー、60歳四コマ漫画、65歳歴史求めて歩く、70歳詩吟を続けてきました。中でも踊りは30年越え健康一番です。歌詞に合わせて振り付けされており、何回も練習を重ね1時間踊ると汗びっしょり。今は師匠が亡くなられ自分で創作しています。芝居は声を出しと表現力、仲間とのコミュニケーションがとれます。四コマ漫画は、頭の体操のため毎日1本制作、これがコロナ禍で仲間を励ますのに役立ちました。1ヶ月前の時事を漫画にしますコロナ禍になってからは、たより、電話がよく来るようになりました。読者の皆さんの応援をします。

76歳となりこれから先どうなりますやら。健康維持はストレスをためないことだと思っています。好きなことはストレスがたまらないし、生きる喜びがあります。

今年の課題「一つの希望」

山口 政紀メン

昨年は5月「 Санкт-ペテルブルクを巡る旅」と10月「ポーランドとバルト三国」に申し込み楽しみにしていました。コロナ禍で渡航できずとなり振り込んでいた二つの費用が返還され何だかお金が増えた気になりました。しかし旅情は・・・？

国内でも他県のナンバープレートを見ると「石を投げつける」と聞いたのは少し経ってからでした。クワバラクワバラ・・・！

「赤穂岬温泉と淡路洲本温泉」や沼島の鱧・「木村屋で舌鼓」

の県内。「若狭小浜と舞鶴・奥伊根と出石」や「和歌山からフェリーで徳島・阿南と宍喰温泉」など公共交通を避けてこっそりドライブ。

定期健診の「人間ドック」と循環器・呼吸器・歯科・眼科は3ヶ月と半年点検！そしてワイズの会合以外は巣ごもり。教会もほぼ「家庭でのリモート礼拝」。新年は「コロナの鎮静」で海外への旅に再挑戦したいと願っています。

コロナ禍が収まったら

山本常雄マン

心疾患持ちの高齢者としては、只々自粛して嵐の吹き止むのをじっと待つのみ。ワクチンの投与が欧米から始まり、まもなく我国でも開始されると思う。

早ければ今春から、遅くとも半年後には受けられると期待している。巧く生き延びられたら何をしようか、果たして何が出来るか？と自問して… やはり出来れば若い人達の手助けになれることが出来れば良いなあと思う。

「足手纏いになることせんといて！」「あっちい行っといて！」「何もせんてええから邪魔せんといて！」「お金だけ出してくれたらええわ！」「お金もええけど…」体を動かすなり智慧出して一緒に何かやって、若い人の役に立っている！」「まだまだ捨てたものではない！」との実感が得たいものだし、それが若さや活力の源になるのではないかと思う。

ボランティア貢献を標榜する我々として、何か委員会でも立上げて「これから先のことを一緒に考える」そんな1年になれば良いなあと思う新春今日この頃です。

2020年1年間の纏め 俳句練達帳

「水の流れのままに」(Mastery for Service of Haiku)

無手勝流 如流水廃人 茨木家 直行

1. 俳句との出会いー小学5年でいきなり入選

俳句との出会いは小学5年生の国語の授業。「季語」を入れて、五七五に言葉を並べるとのことで、無謀にも友達と当時の情報源の「毎日小学生新聞」に投稿したところ、何と「特



賞」を戴いてびっくり。当時の作品が以下のもの。

—小山から 街を眺める 五月かな—

(学校の裏山から街を眺めて、鯉鱒が風に靡いていた風景)

講評に「五月(さつき)の様子がよく表われている」とのことで、「五月」と書いて「さつき」と読むことを初めて知った。それを聞いた父が「よくそれで出したものだ。選ぶ方も選ぶ方だ」と呆れていた。俳句は小学生にはハードルが高く、投稿数が少なかった結果と想像しています。

2. その後の俳句人生ー定年後OBOG会サークル

その後は俳句からすっかり離れていて、復活したのは定年後。会社の先輩でかつての上司から誘われて、OBOG会の句会に入り55年ぶりの作句。好き勝手の我流。句会の在籍者は約20名弱。常時出席者は8~13人程度。会費は月500円。

3. 句会の様子ー新鮮なわくわく感

毎月会長から出された「兼題」(季語2題)を使い5句を短冊(短冊用に切ったメモ用紙)に記載して、毎月第二木曜日15時に会社の竹睦会室(OBOG会室)の例会に持参。

例会の様子は以下の通り。(4月からテレワーク)

- ① 15時迄に、用意した5句の短冊(無記名)を折りたたんでボックスに**出句**する。
- ② 15時開会で5句づつ**配布**し直す。
- ③ それを各自がA6の用紙に5句を**清書**する。
- ④ 持ち番号を連呼し、その用紙に番号を記入。順送りに**選句**し、隣に送る。
- ⑤ 選句が終ると、1番から順に「〇〇選」と宣言し、選句した作品を**公開**していく。
- ⑥ 公開作品の**作者**は俳号で名乗り出る。ここで**得点**がカウントされる。
- ⑦ 一巡したら、得点の高い人から順に作品の発想の趣旨や、場所、日時、その時の状況などを**説明**する。作者の意図と選者の感想のズレが面白い。これが句会の醍醐味。
- ⑧ 一通り一巡して最高得点者が感想とお礼を述べて句会は終了。

※俳号ー選句や作者は全て自身で決めた「俳号」で名乗る。選句の場合は「〇〇選」と宣言。選句された作者も俳号で名乗る。私の俳号は本名が「勅紘(とまくに)」ですが、読めない難解なので、音読みして「直行」。会長は「綜観」さん、他には「四百」さん、「絢女」さん、「紀文」さん、「信棒」さん、「三丘(さんきゅう)」さん、名前の玉越の「玉」を分解して「二上(にじょう)」さん、本名のままの「純二」さん、「利行」さん、「優」さん、「靖太郎」さんなど。自由に命名。技術系が多い。

4. お楽しみー懇親のひとつき

その後は有志で近くの居酒屋で、「反省会」と称して懇親会を持ちます。この時にはキープしていた焼酎のボトルに最高得点者は自信作を書き込む権利が与えられません。

例会終了の2, 3日後会長は選句結果を解説付きに纏めて会員にメールで報告して次月の兼題を公開してその月の例会は終了。3年位で会費が貯ってくると句集が発行され、発行記念に全員参加の記念懇親会。現在145回。

5. 今年得点を戴いた作品は以下の通り。(得点順)

1. 初浴衣 嬉しき子らは 靴のまま (5) 7月2.
海神の 波に日の帯 鳥渡る (3) 10月3. 通り
掛け 一服借りる 焚火かな (2) 2月3. 少しづつ
生きて八分の 春浅し (2) 4月3. 霧るや 太陽の
塔 受けて立つ (2) 5月3. 夕焼け空 ジャンケンポ
ンの 下校道 (2) 8月3. 影ひとつ 秋霖濡れし 女男
居て (2) 9月3. 長崎の 鐘の願ひや 萩和毛
(2) 10月
番外 寅さんの 背語り行く 初御空 1月番外
句友より 届く新酒や 受賞作 11月
※句友とは神戸ポートクラブの細見ワイズ

受洗のご報告

藤田 良祐メン

2020 年は新型コロナウィルスに翻弄された1年でしたが、西宮YMCA では保育園や学童保育を中心に、コロナ禍でも保育が必要な



な家庭のために子どもたちの受け入れを継続しました。各現場の講師やスタッフの献身的な働きに、心から感謝をした1年でもありました。そんな1年の終わりが近づいた12月20日、日本基督教団御影教会で洗礼を受けていただきました。YMCAの諸先輩方、ワイズメンの皆様、家族など、多くの方々に見守り、導いていただき、そして神様が招いてくださいました。ある先輩は「受洗して良かったことは、自分の中にキリスト教という羅針盤を持つことができた。価値判断の揺るぎない基準を作ることができたことだ。」と語ってくださいました。信仰生活は始まったばかりですが、YMCAの主事として、また1人のキリスト者として、学びを深めていき

たいと思います。今後ともご指導のほどよろしくお願ひいたします。

近況報告

浅野純一メン

高校教員を退職して12年が経過します。いま、高校で教える歴史のレポート作成に取り組んでいます。私は「倫理社会」の教員として兵庫県に採用されたのですが、行きがかり上、多年にわたって「世界史」を担当し、また「日本史」も数年間担当しました。その過程で歴史の内容に疑問を持ちました(疑問の内容は長くなりますので)。退職後、御影ユースプラザでお世話になり、社会人対象の歴史講座を開講しました(3年間)。その後、文字に起こすことにしました。まず「世界史」の西洋史、中国・朝鮮史を2016年に終えました。次に「日本史」に取り組みました。まず『古事記』の抄録を作成し、現在は江戸時代中期に至っています。現代に至るまでに、あと4~5年はかかりそうです。

いま、歴史のこととともに私の生活の柱になっているのが1才11か月の孫の世話です。長女が自宅でWEBによるベーカリー教室を開講しています。夫は転勤族で、東京・松本を経て神戸市北区に転宅してきました。孫の世話を頼まれて、週に2日は掛かりきりになっています。世話は大変ですが、散歩のときの自然鑑賞など楽しいことも多くあります。

今年もよろしく

「傘寿」素晴らしい言葉、でも振りかざしたくない言葉。80歳迄、元気で長生き出来たらと願っていた。いつの間にか親父の歳も超えた。西宮クラブに入会させていただいて、育ててもらったYMCAにわずかな恩返しが出来、カーニバルやファミリープログラムを通して、西宮ブランチが地域と密接につながりYMCAの精神が今も引き継がれている事も知り得た。じゃがいもファウンドでさらなる活動の支援にも参加出来た。何よりも例会の後の懇親会が嬉しい。今のままでは老人会、改革が必要。そう思う人は絶対頑張ってもらいたい。やりたくてもやれなくなる。参加したくても参加出来なくなる。飲みたいくても飲めなくなる。そんな時がやってくる。だから、特別扱

いも、いたわりもいらない。居場所を置いておいてほしい。老人とは思いたくないが、これでは、やはり傘寿の人。皆様今年もよろしく願います。コロナの終息を願いつつ。
阪根 新メン

YMCA ニュース

担当主事：藤田 良祐メン

いつもYMCAをお支えいただき誠にありがとうございます。特に昨年6月にはYMCA ポジティブネット募金としてコロナ禍にある子ども・若者・地域支援に、西宮クラブから多額のご支援を賜りましたこと心から感謝申し上げます。2021年もコロナの脅威は続くことが予想されますが、全国のYMCAで「はなれていてもつながっている」をキーワードに協働を進め、混迷の時代にあっても「ポジティブネットのある豊かな社会」をそれぞれの地域に創造することを目指して歩んでいきたいと思えます。「ポジティブネットのある豊かな社会」とは、「喜びを共にし、痛みを分かち合う社会」なのだと思います。今年も多くの人々と共に支え合い、共に生きる社会を実現するために、YMCAと共に歩んでくださいますようお願い申し上げます。

1. 育成センターのクリスマス

西宮YMCAが運営する育成センターでは、コロナの影響により多くの行事を中止したり、内容を変更したりして感染症対策を行なってきました。特に三密回避の観点から、なるべく子どもたちが個人で取り組むことができるプログラムを実施してきました。なんとか、クリスマスには子どもたちが小さなグループで、お互いに励ましあったり、支えあったりする機会を提供したいと願い、グループ対応ゲーム大会を行いました。校長先生にもご協力いただき、会場は小学校の体育館を使用させていただきました。仲間と一緒に協力して課題をクリアしたり、



共に身体を動かしたりする時間は、やはり子どもたちにとって、大切な時間であることを改めて感じる機会になりました。

2. Amazon 社会貢献事業「みんなで応援プログラム」

Amazon による社会貢献活動の一環である「みんなで応援プログラム」に神戸YMCA を含む全国



23YMCAが参画しています。これは、各YMCAがプログラムを行う上で必要なものをAmazonのサイト上で公開し、その趣旨にご賛同いただける方々にその商品



を購入いただくと、応援物資として各YMCAに商品が届くという取り組みです。神戸YMCAにも支援者の方々から商品が届き始めています。HPでも情報を公開しておりますので、是非ご覧いただき、支援の輪に加わっていただければ幸いです。

みんなで応援プロジェクト
(https://kobeymca.org/data/pdf/amazon_ouen.pdf)

※ QRコードを読み取っていただければ説明をご覧いただけます。

3. 今後の予定

(1) 第12回コミュニカ学院・神戸YMCA日本語スピーチコンテスト

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により神戸YMCA単体での開催となりましたが、今年はオンラインでコミュニカ学院と日本語スピーチコンテストの共同開催を行います。日本語学習の成果に加えて、コロナ禍に日本で学ぶ留学生が何を感じたのかに耳を傾けていただければ幸いです。西宮ワイズメンズクラブの皆様にはコンテストの趣旨にご賛同いただき、毎年ご支援頂いていることに感謝申し上げます。今年もどうぞ、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日時：2021年3月3日(水) 9:00~13:00

形式: Zoom によるオンライン配信 (ご参加の希望の方は藤田までお知らせください。)

(2) ピンクシャツデー2021

新型コロナウイルスの影響による人々の不安や恐怖は、社会に差別や偏見を生み出しています。そんな社会にあつて、誰もが安心して暮らせる、多様性を認め合う社会の創造を目指して、今年も YMCA ピンクシャツキャンペーンを全国展開します。神戸 YMCA でも 2021 年 2 月 24 日 (水) を中心に取り組みを行うことを検討中です。詳細は改めてお知らせさせていただきます。

ワイズニュース

【今後の予定】

1月8日(金) 19:00～ 第一例会 **新型コロナ感染拡大防止のため中止**

1月22日(金) 19:00～ 第二例会 西宮 YMCA にて実施予定

1月25日(月) 18:30～ ワイズ六甲部各会長・パートナーシップ委員合同懇談会

@神戸 YMCA 三宮会館 (出席予定: 万本会長、藤田)

2月12日(金) 19:00～ 第一例会 **1/22 第二例会にて実施の判断を行います。**

2月26日(金) 19:00～ 第二例会 西宮 YMCA にて実施予定

編集後記 プリテン委員長 廣瀬 一雄

今月は寄稿原稿で紙面の埋まり具合がなかなか予想できませんでした。結果このように多くの余白ができてしまいました。その穴埋めという訳ではありませんが、小生も1月は誕生月。それに免じてショート・トリップの思い出を・・

11月末、ほぼ月例の友人たちとのウォーキング。当初は大阪城近代史跡 walk。ラジオ塔、大阪陸軍城南射撃場跡、砲兵工廠化学分析場跡、砲兵工廠荷揚げ門、機銃掃射跡、第四師団司令部庁舎などを訪ねる予定でしたが、大阪コロナ渦が激化し来阪拒否宣

言!そこで急遽行き先を東から西へと変更。県内ならいいだろうと竜野に。ここは2020年6月に伝統的建造物群保存地区に指定されました。(伝統的建造物群保存地区は、文化財保護法第143条第1項または第2項の規定により、周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値が高いもの、およびこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するため、市町村が地域地区として都市計画もしくは条例で定めた地区である。略称は伝建地区、伝建。ウィキペディア)

JR三ノ宮から新快速で姫路へ。駅内の改札を通り姫新線に乗り換え。きれいなコンパクトな車両。通勤時間帯もすぎ、姫路からは下り、のせいか、快適。



JR 本竜野駅に到着。駅舎も新築されてきれい。駅前から大通りがあり一角にヒガシマル醤油の立派な建物がある。どうも大きな建物はこの会社のものようだ。龍野城跡近くのそうめん処霞亭にて昼食。こちらはミシュ

ランガイド兵庫 2016 に認定されている。食事後、城下町の約 4km の散策です。うすくち龍野醤油資料館～龍野伝統建築物群保存地区の散策、立町～本町～下川原町～龍野橋～JR 本竜野駅へと。



この walk、12月はお休みに・・・。

ヒガシマル醤油・会社 HP より
時は明治維新。ヒガシマル醤油の前身、浅井醤油に藩から払い下げら



れた直営醤油醸造所「物産蔵」が(東蔵)と呼ばれていたことが由来のひとつ。加えて、「社運が旭日昇天の勢いなれかし」の願いも

込めて定められたものであります。